

令和5年度
全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会

法人管理事務運営部会 実施案内

主催 一般財団法人日本私学教育研究所／後援 日本私立中学高等学校連合会

【研究のねらい】

魅力ある私学の働き方 ～ウェルビーイングを実現させるために～

近年の働き方改革推進に伴い、身体的・精神的・社会的に健康である状態を指す「ウェルビーイング」という考え方が注目を集めており、さらには「スピリチュアルヘルス（魂の健康）」の重要性についても議論が進んでいる。

教職員のウェルビーイングが高まれば、その効果はやがて生徒達にも波及し、さらなる教育効果向上も期待できるため、今後、私学ならではの魅力ある働き方を模索する上で、重要なキーワードといえよう。

当部会では、2名の講師を迎え、「ウェルビーイング実現に向けた組織と環境づくり」と「これからの部活動のあり方」についての講演を行う。研究討議では、参加者が意見・情報交換を行い、最新情報と課題を共有することで、私学全体のウェルビーイング実現を目指す機会としたい。

【会 期】 令和5年8月4日（金）

【会 場】 **ビジョンセンター品川**（東京都港区高輪 4-10-8 京急第7ビル）
（JR各線・京急本線「品川駅（高輪口）」徒歩3分）

【募集人数】 60名

【参加対象】 理事・事務局長・事務長等の事務管理職並びに校長・副校長・教頭・教務部長等の教育管理職
※参加対象校は、都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校

【参加費】 18,000円（昼食費を含む）

【日 程】

9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	30		30	30	30	40		10	20		30	
受付	開会式	基調講演 (90分)	昼食 (情報交換会)	研究討議Ⅰ (60分)		講演 (90分)		研究討議Ⅱ (70分)		閉会式		

※プログラム・内容は変更となる場合があります。

基調講演 演 題 「幸福学から紐解くウェルビーイング実現に向けた組織と職場環境づくり」

講 師 前野 隆司 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授

講 演 演 題 「私学における部活動のあり方を踏まえた教員の働き方改革について(仮)
～経産省実証事業『私学高等学校・中学校における部活動の新しいプラットフォーム
(関学モデル)構築に向けて』を通して～」

講 師 田澤 秀信 関西学院高等部副部長

【プログラム】

【会場】ビジョンセンター品川 3階「301B」

9:00～ 9:30	◇受 付◇
9:30～ 10:00	◇開 会 式◇ 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1. 開会 2. 主催者代表挨拶 吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長 3. 役員・専門委員紹介 4. 研修会運営方針説明 工藤 誠一 法人管理事務運営専門委員長 5. 日程説明 6. 閉式
10:00～ 11:30	◇基 調 講 演◇ 司会・講師紹介・謝辞 法人管理事務運営専門委員 演 題 「幸福学から紐解くウェルビーイング実現に向けた組織と職場環境づくり」 講 師 前野 隆司 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授
11:30～ 12:30	◇昼 食◇（情報交換会）
12:30～ 13:30	◇研究討議Ⅰ◇ 【会場】同2階（「202」、「203」）/同3階（「302」、「304」、「306」） テーマ 「ウェルビーイングを実現させる働き方とは（基調講演を受けて）」
13:40～ 15:10	◇講 演◇ 司会・講師紹介・謝辞 法人管理事務運営専門委員 演 題 「私学における部活動のあり方を踏まえた教員の働き方改革について（仮） ～経産省実証事業『私学高等学校・中学校における部活動の新しいプラットフォーム（関学モデル）構築に向けて』を通して～」 講 師 田澤 秀信 関西学院高等部副部長
15:20～ 16:30	◇研究討議Ⅱ◇ 【会場】同2階（「202」、「203」）/同3階（「302」、「304」、「306」） テーマ 「これからの部活動のあり方について（講演を受けて）」 ※グループ及び会場は「研究討議Ⅰ」と同じ。
16:30～ 17:00	◇閉 会 式◇ 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1. 開式 2. 総括 工藤 誠一 法人管理事務運営専門委員長 3. 閉会挨拶 平方 邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長

※プログラムは変更になる場合があります。

【研究討議の進行について】

5グループに分かれ、研究討議Ⅰではグループ全体での討議、研究討議Ⅱでは小グループでの討議も交え、各テーマについて参加各校の現状や課題等について意見交換を行います。（小グループでの司会は参加者に依頼します。）

【参加者へのお願い】

○研修会場での動画・写真撮影等について

- ・当研修会での主催者記録係・取材メディア以外による録画・録音は禁止します。
- ・講師・発表者等の許可無く研修会の写真・内容等のホームページ・ブログや各種SNS等へのアップロードは禁止します。
- ・撮影した動画・写真は当研究所広報活動（刊行物・ホームページ掲載等）や取材メディアの新聞掲載等で使用する場合があります。会場内の様子を撮影する関係上、参加者が写真や動画に映り込む可能性がありますので、予めご了承下さい。

【基調講演 講師プロフィール】

前野 隆司 (まえの たかし) 慶應義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント研究科教授

1984年東京工業大学卒業、1986年同大学修士課程修了。慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授兼同大学ウェルビーイングリサーチセンター長。博士(工学)。キャノン株式会社、慶應義塾大学理工学部等を経て現職。幸福学、幸福経営学、イノベーションの研究・教育を行なっている。著書に、『ディストピア禍の新・幸福論』(プレジデント社)、『ウェルビーイング』(日経文庫)、『幸せな職場の経営学』(小学館)、『幸せの日本論』(角川)、『幸せのメカニズム 実践・幸福学入門』(講談社現代新書)、『脳はなぜ「心」を作ったのか』(筑摩書房)など多数。



【講師・指導員 (順不同)】

前野 隆司 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授
田澤 秀信 関西学院高等部副部長
吉田 晋 富士見丘中学高等学校理事長・校長
平方 邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長

【専門委員・指導員 (順不同)】

工藤 誠一 聖光学院中学高等学校理事長・校長
下屋 浩実 高山西高等学校理事長・統括校長
服部 泰啓 学校法人信愛学園理事長
摺河 祐彦 姫路女学院中学高等学校理事長・校長
川島 英和 学校法人川島学園理事長
野尻富太郎 学校法人東京女学館常任理事・法人事務局長
川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長

【会場案内図】

●JR各線・京急本線「品川駅(高輪口)」
徒歩3分

〈住所〉〒108-0074
東京都港区高輪 4-10-8 京急第7ビル
〈TEL〉03-6262-3553



令和4年度研修会の様子



【参加申込方法】

1. 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、以下の申込先に FAX または郵送でお送り下さい。
お電話での申込はできません。

申込先

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 6 階
「一般財団法人日本私学教育研究所 研修会担当」宛
電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683
ホームページ <https://www.shigaku.or.jp/>



2. 申込は先着順に受け付けます。募集人数を超えた場合は期日前でも締切となる場合があります。
申込を締切った場合は当研究所ホームページでお知らせします。

申込み締切日 7月21日(金)必着

3. 申込受付後、「参加確認証」「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」「健康チェックシート」を郵送します。
参加費は「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）払込用紙」で、指定されたコンビニエンスストアで以下の振込期限までにお振込下さい。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。「参加確認証」は、研修会当日受付にご提出下さい。

参加費振込期限・キャンセル期限 7月26日(水)

4. 申込後 2 週間以内に「参加確認証」等が届かない場合は電話でご連絡下さい。

【変更・キャンセルについて】

必ず FAX で日本私学教育研究所へご連絡下さい。

- ①変更の場合は、「参加確認証（再発行）」を郵送します。
- ②キャンセルの場合は、「キャンセル確認書」を FAX で返信します。

キャンセルポリシー

7月26日(水)迄のご連絡	7月27日(木)以降のご連絡及び無断欠席
事務手数料 1,000 円を差引いた参加費を返金します。	参加費の返金はできません。 研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合は、キャンセル料として参加費全額を申し受けます。天変地異や自然災害等によるキャンセルの場合は、状況により対応しますのでご相談下さい。

【研修会における新型コロナウイルス感染症への対応方針について】

最新の新型コロナウイルス感染症への対策・対応等は[当研究所ホームページ](#)をご覧ください。

【個人情報の取扱いについて】

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証及び研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要が生じた場合のみに利用します。

【傷害保険について】

当研修期間中の参加者等の傷害保険には加入しませんのでご承知置き下さい。

